

SUPPORT 802

八王子市 市民活動支援センター 広報紙

発行日:奇数月1日
発行:八王子市市民活動支援センター
〒192-0083 八王子市旭町12番1号
ファルマ802ビル5階
電話:042-646-1577 FAX:042-646-1587
メール:npo802@shiencenter-hachioji.org
URL:http://www.shiencenter-hachioji.org/
指定管理者:NPO法人八王子市市民活動協議会



市民活動・イベント広場

こどもはみんな個性の～知っておきたい発達障害

4名の発達障がいを持つ子どもを育てたお母さんと、周りになじみず苦勞した当事者の方の講演会です。个性的?不登校?育て方が悪い?悩む前に知っておきたいこと。思春期、そして自立。当事者の言葉、自分らしく生きるために大切なこと。子育てを楽しむヒント。

日時:1/15・22・29・2/5 全て水曜 10:00~12:00
会場:クリエイトホール 10階 第2学習室
定員:40名(原則として4回とも参加できる方)
参加費:無料
申込:042-648-2231(生涯学習センター) 先着順
主催:八王子市生涯学習センター
(任意団体:発達障がいハッピーサポート)

『資産運用の基本』

ファイナンシャルプランナーによるセミナーと相談会。資産運用セミナー★個別相談会(要予約)50分×6組

日時:1月18日(土)13:30~17:00
会場:クリエイトホール(11階)第6・7学習室
定員:セミナー各回20名
個別相談6組(先着順、要予約)
参加費:500円
申込:090-9399-0246 伊藤方
メール fp-net802@mbr.nifty.com
主催:FPネットはちおうじ

チャリティコンサートと講演の集い

この収益金は脳関連障害者施設等に寄付されます。
日時:2月22日(土)13:30~
会場:八王子市芸術文化会館いちょうホール(大ホール)
参加費:2,500円(全席自由)
中学生以下のお子様のお入場はご遠慮ください。
販売:いちょうホール、学園都市センター、南大沢文化会館、オリンパスホール八王子、電話予約042-621-3005
問合せ:090-6175-5548 天野/090-7008-4877 大熊
主催:八王子東京パイロットクラブ

わら細工の体験講座

「いぐさ」を使って円座を作ります。ハサミと作品持ち帰り袋をご用意下さい。服装はズボンで。床作業になります。
日時:1月25日(土)13:00~16:30
会場:クリエイトホール(4階)第1創作室
定員:10名
参加費:700円(材料費込み)
申込:不要。直接会場へ。
問合せ 090-5776-2069 伊藤
主催:わら細工の会 円座

八王子にほんごの会「新春のつどい」

日本語を勉強している外国人の人たちと一緒に、各国の手づくり料理やアトラクションを楽しみ、日本語で交流します。
日時:1月25日(土)14:00~16:00
会場:労政会館2階ホール(八王子市明神町3-5-1)
定員:200名(一般の方、大歓迎!)
参加費:500円(小学生以下は無料)
申込:不要。直接会場へ。
問合せ 042-636-1691 貝嶋
主催:八王子にほんごの会

『変化する気候の中で、安全安心で豊かな社会を創る知恵』

昨年台風等災害続きでした。この異常気象の背景を理解し、安全安心で豊かな社会を創るにはどうしたらよいか、みんなで一緒に考えましょう。
日時:1月29日(水)10:00~12:00
会場:エコひろば(北野町 あったかホール2階)
講師:小池俊雄さん(東大大学院教授・社会基盤学)
定員:申込み先着順30名
参加費:無料
申込:電話042-656-3054 FAX042-631-9422
主催:エコひろば



2014年「春節の会」

中国の春節は旧暦(農事暦)の正月です。今年は2月2日になります。健康で幸運を願い、楽しく集い語る会です。二胡・太極拳・ひょうたん笛などの演技もあります。餃子を食べながら春節を祝い、交流しましょう。

日時:2月1日(土)13:30~16:00
会場:八王子労政会館2階ホール
定員:150名
参加費:1,000円
申込:042-623-6918 渡辺
042-645-8411 佐藤
主催:日本中国友好協会八王子支部



春節中国餃子交流会

中国の旧暦正月を餃子を作ってお祝いします。
日時:2月2日(日)13:30~17:00
会場:クリエイトホール9階調理室
定員:20名 参加費:1,500円
(残留孤児の方無料、中国人の方500円)
申込:電話/FAX 042-648-3534
メール enkyou-xia@nifty.com
主催:八王子市日中友好協会

くらしと経済セミナー

遺言でもない、成年後見でもない、相続対策の新しい形! 想いをつなぐ「家族信託」。信頼のおける身内に「信託」という形で財産を託し、円満相続を講じます。
日時:2月6日(木)10:30~12:00
会場:東京都多摩消費生活センター
定員:30名
参加費:資料代として1,500円(当会場にて)
申込:FAX 042-660-0463
氏名・電話番号・住所・セミナー名をご連絡下さい。
問合せ 042-660-0460(平日10:00~16:00)
主催:NPO法人 多摩FP

お手玉遊び競技大会

なつかしいお手玉遊びから新しい出会い
日時:2月8日(土)開場10:00 開始10:30~
会場:八王子労政会館2F
参加費:無料 見学自由
競技種目:個人戦 当日参加可(小学生から一般)
団体戦 事前申込(小学生のみ:5人1チーム)
申込:042-651-7074
主催:八王子お手玉の会
後援:八王子市教育委員会
八王子市社会福祉協議会



劇団風の子「ふわふわとももこ」

子どもたちが集まる場所に子どもにしか見えない妖精が、別な妖精と出会います。お互いなかなか声をかけられず...
日時:2月11日(火・祝)11:20~12:05 受付開始10:45
会場:北野市民センター8階ホール
定員:100名
参加費:子ども(0~2歳)無料、(3歳~小学生)1,000円
大人(中学生以上)1800円/親子ペア2,600円
申込:TEL/042-645-1739
主催:NPO法人八王子子ども劇場

講座「理解する、学ぶ、力を合わせる地域社会」

高齢者の虐待防止に関する講演や認知症家族介護の体験談、心理カウンセラーによる心のカウンセリング講座等。
日時:1月18日(土)13:15~18:30(3部構成)
会場:クリエイトホール(10階)第2学習室
定員:申込み先着60名
参加費:各部1,500円・3部全て参加される方は3,000円
申込:042-669-2728 福田
主催:NPO法人 日本ウェルネット

明けまして おめでとう ございます



八王子市市民活動支援センターでは、市民活動に有益な情報を皆様にお届けしていきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。



大学と地域が連携する時、まちは活性化



法政大学ボランティアセンター
ボランティアコーディネーター
石野由香里さん

八王子のまちづくりを考える時に、話題にあがる「大学」。その大学と地域がうまく繋がるには一体何が必要なのでしょう。今回は、学生と地域を繋ぐコーディネーターとして日々奮闘している、法政大学ボランティアセンターの石野さんにお話を伺いました。



ゼミで地域に関わる学生さんやボランティアセンターの学生スタッフの皆さん(法政大学)

●学生の動機を理解する

「ボランティアは、学生にとっては、居場所の選択肢の一つなのかもしれません。」と石野さんは言います。学生は、様々な理由でボランティアセンターを訪れます。そこには、問題意識や善意を持って地域と関わりたいという学生もいますが、「時間がある」「子どもが好き」「人脈を広げたい」「面白そう」そのような軽い気持ちで関わる学生も多いそうです。

ただ、その「軽い気持ち」という位置付けは大人の思考に過ぎないでしょう。ボランティア活動や地域活動を行う学生たちは、もしかしたら自宅や学校以外の居場所、またはやりがいをそこに見出そうとしている可能性があります。住民側がその健気な思いに気がつけば、地域と大学はもっと親密になれるに違いありません。

●学生が地域に及ぼす光

学生と何かを企画する時、「学生は気が移ろいやすいし、頼りない。長期の取り組みは任せにくい。」となげく人がいるのが現状です。

しかし、沢山の学生と関わってきた石野さんは、学生と地域の関わりを違った視点で見えています。「学生の存在は、地域住民同士を繋ぐ潤滑油になることがあるのです。それは、彼らの立場は年配者や子どもが親しみを覚えやすく、それによって周囲に人が集まりやすいからだと思えます。大人相手だとあまり口をきかない住民が、学生相手だと心を開いてくれたりすることも。また学生は影響を受けやすい分、大人では考えられないような変化を

たった1年で遂げる場合もあり、その吸収力には目を見張るものがあります。」と石野さんは言います。そして実際にそのような場面を目の当たりにし、彼らの持つ力は、単にスキルや知識だけではなくとも感じているそうです。学生を迎える地域が、「次世代を育てる感覚」を持ち、そして大らかな目で見守る姿勢が大切なようです。彼らの持つ目に見えないその力を、私たち大人も理解すべきなのかもしれません。

●地域と大学がうまく連携するコツ

最後に、地域と大学がうまくいく要素を石野さんに尋ねたところ、「大学サイドと地域住民側、両方にメディアエーター的(仲介役)人物の存在が必要かもしれません。」との答え。仲介者はできれば当事者(学生、住民)ではないこと。お互いの事情を理解して物事を分析し、的確にそれぞれの意見を代弁できる人物がいれば、軋轢は起こりにくいと石野さんは考えています。「ふらっと相談室館ヶ丘」は、そのやり方で学生と地域が非常にうまくいっている例です。学生側には石野さん、地域側には相談員が常駐し、日々連携を取っています。地域と大学がスムーズに、そして長く繋がっていくには、双方にとって頼りがいがあり、また、公平な目を持ったアドバイザーの存在が鍵になると言えそうです。

※法政大学では、地域とキャンパスの交流・連携に熱心に取り組んでいます。ボランティアセンターの他、2014年4月には、多摩地域交流センターが新設されました。これからの取り組みが期待されます。

地域で活躍する学生ボランティアグループ

明星大学防犯ボランティアチーム「MCAT」

～地域ボランティアの宝、大学生のボランティアカ～

明星大学ボランティアセンター（キラキラボランティアセンター）の一員である、MCATに2013年、春、日野警察署から感謝状が贈られました。精力的に活動をするMCATの皆さんに、ボランティアに対する想いを伺いました。



左から村上翔太郎さん、小林玄武さん、堤直樹さん

日頃から小学校の登下校のパトロール、防犯活動、地域祭りの手伝いなどを行っているMCATの皆さん。

「イベントの手伝いやボランティアの後にありがとう

と言ってもらえるのは嬉しい。」と、隊長の村上翔太郎さんは言います。また、日常生活では体験できない事を味わえるのも、ボランティア活動の魅力の一つと、副隊長の小林玄武さんは語ってくれました。「ボランティア活動で地域の子供達と触れ合う機会があるんです。その時に風船、バルーンアートを作らせてもらったんですよ。バルーンアートのような普段味わえない事を子供達と一緒に体験できる。あれは、本当に良い体験でした。」地域の人達とボランティアを通じて触れ合う事で、ありがとうと言ってもらえる喜び、普段、体験できない事を実感しているMCATの皆さん。「自分は何よりもボランティアを通じて、MCATのメンバーと一緒にいられる事が楽しい。」と、一年生の堤直樹さん。



MCATのメンバー、見守り活動。

MCATは、学生さん達にとって、コンパやサークルとは違ったコミュニティを提供してくれる場になっています。

地域に貢献&交流する学生たち「大原子ども会」

50年以上続いている、歴史ある学生サークル

大原子ども会は、首都大学東京と大妻女子大学の学生で共催されている合同サークル。「子どもたちを喜ばせたい、そして自分たちも精一杯楽しみたい。」そんな肩肘張らない考え方が「大原子ども会」を支えています。



小川貴弘さん、谷川麻衣子さん

秋晴れの土曜の昼下がり、公園に子どもたちの元気な声が響いていました。

南大沢の赤石公園で、地域の子どもと遊ぶ活動をしている大原子ども会は、公園遊びだけでなく、季節ご

とのイベントも行い、登録している子どもたちを一年通して楽しませているようです。そして、活動終了後には、家訪と称して必ず子どもたちを自宅まで送り、家族の方と言葉を交わします。

代表の小川さんと副代表の谷川さんにお話を伺ったところ、「自分たちが遊ぶのを楽しんでいる。」とのこと。

しかし、活動の様子を見学すると、学生さんは童心に戻り思いきり遊びながらも、一人でいる子どもがいないよう配慮したり、危険なことに目を光らせたりと、大人としての立場も忘れてはいません。



みんなでドッジボール。子どもの歓声が公園に響きます。

イベントの際にも役割分担をして、各々がしっかりと係に責任を持つシステムが確立しているようです。

子どもたちに話を聞いてみると「すっごく楽しい！」と元気な答え。大原子ども会の活動は、親や先生とは違う関わり方で、子どもたちのいきいきとした表情を引き出している気がしました。

広報部サポートスタッフ紹介

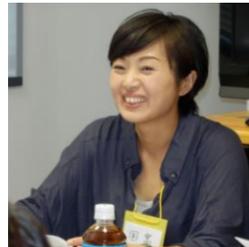
浅野健太郎さん

はじめまして、市民活動支援センターで開催されましたライター講座の卒業生です。この度、ライター講座で学んだ事を活かして、広報部に参加させて頂く事になりました。もともと、緊張しやすいタイプなので、上手く取材できるか不安です。しかし、学ぶ気持ちを謙虚に持って、しっかりと向かい合えば、たぶん大丈夫。取材させて頂く方達は、経験豊かな市民活動団体の皆さんやこれから市民活動に関わって行こうとするエネルギー溢れる方々ばかりだと聞いています。そんな凄い方達の人としての魅力を伝えて行きたいと考えています。



国富由紀さん

この度、ご縁があってサポートスタッフとして広報に関わることになりました。活動する皆さんに役立つ情報を、わかりやすく、かつ、面白く広報紙に載せていきたいです。そして、読者の方が思わず切り抜きたくなるような記事を目指して、努力していこうと思っています。市民活動支援センターに関わるようになって、八王子市をもっと知りたいたいと考えようになりました。これからの取材で、色々な活動をされている皆さんにお会いできることを思うと、胸が高鳴ります。しかし、問題は自分自身の口下手。話上手になるべく、日々研究中です。



アクティブ市民塾

1月 知ると知らぬは大違い!! シニアのための快適住まいづくり

はちふく・ねっとは、高齢化社会における住環境の重要性を伝える活動を行っている団体です。「我が家での普通の暮らしをあきらめない」をコンセプトに、医療、介護、建築、インテリア等の専門家がチームを組んで、高齢者、障がい者の住環境整備の相談に対応しています。多彩なプロ集団が、家の改築のことから介護保険のことまで、知っ得情報をお届けします。

- ◆日時：1月25日（土）10:30～12:30
- ◆会場：八王子市民活動支援センター
- ◆講師：NPO法人はちふく・ねっと 理事長 小澤邦博さん
- ◆参加費：無料
- ◆定員：30名
- ◆主催：八王子市民活動支援センター



お申込み方法：八王子市民活動支援センターまで、お電話、FAX、メールでお申込みください。

★電話/042-646-1577 ★FAX/042-646-1587

★メール/npo802@shiencenter-hachioji.org

2月 見て、聞いて、それから参加する!! いろいろなNPO・団体見学ツアー

八王子では、数多くのNPO・団体が活動しています。何かを始めてみたいと思っているあなたに、一歩踏み出す絶好の機会です!! マイクロバスで実際に活動している場に行って、見て、聞くことができるツアーを行います。どんな活動をしているのか、ご自身で確かめてみてください。

- ◆日時：2月18日（火）9:30～15:00(予定)
- ◆集合：JR横浜線片倉駅改札口外側
- ◆解散：カフェこすもす（片倉駅近く）
- ◆行程：NPO法人食事サービス加多厨⇒ワークスコレクティブ花結び⇒エコショップ元気広場⇒NPO法人らいつねとMOE⇒NPO法人多摩草むらの会夢畑⇒ワークスコレクティブかみつれ⇒エコメッセ八王子「風とみどりのマルシェ」⇒NPO法人市民ユニットりぼん「ひだまりの家」⇒NPO法人こすもす「カフェこすもす」
- ◆参加費：500円 お弁当希望者は別途600円（要事前申込み）
- ◆定員：21名（申込先着順）
- ◆申込締切：2月11日（火）
- ◆主催：八王子市民活動支援センター
- ◆共催：生活クラブ運動グループ 八王子地域協議会



助成金情報

詳しくは、当センターにお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



名称	主催	助成対象	助成金額	締切
住まいとコミュニティづくり活動助成	一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団	住まいとコミュニティづくり	上限100万円	1/15（水）必着
学生を対象とした人材育成活動への助成事業	公益財団法人電通育英会	人材育成	上限50万円 上限100万円	1/15（水）必着
東京ガス環境おうえん基金	東京ガス株式会社	環境	10万円～ 100万円	1/15（水）消印有効
市民活動助成	真如苑	多摩地区限定市民活動	上限30万円	1/15（水）必着
2014年中央ろうきん助成プログラム	中央労働金庫	ひと・まちくらしづくり	上限30万円 上限100万円	1/16（木）必着
セブンイレブン記念財団公募助成	一般財団法人セブンイレブン記念財団	環境	助成内容によって異なる	1/20（月）消印有効
ゆめ応援ファンド	東京ボランティア・市民活動センター	ボランティア	50万円	1/31（金）消印有効
東日本大震災現地NPO応援基金	特定非営利活動法人日本NPOセンター	被災地支援	上限300万円	1/31（金）必着
社会貢献基金助成	社団法人全日本冠婚葬祭互助協会	福祉・環境等社会貢献活動	上限200万円	2/28（金）必着
チャレンジ応援プロジェクト	タカラレーベン株式会社	市民活動	上限30万円	2/28（金）